

芸術振

特定非営利活動法人 大分県芸術文化振興会議
通巻第127号 2008（平成20）年12月15日発行



第10回大分県民芸術文化祭記念事業
「おおいたの若い作家たち展」
・平成20年11月5日～11月9日 大分県立芸術会館



第10回大分県民芸術文化祭記念事業 閉幕行事「おおいたを彩る音楽家たち」
・平成20年11月30日14：00 iichiko音の泉ホール

（P 5 に関連記事）

平成21年1月から3月の芸術文化行事

開催日	行 事 名	会 場	主催者等
1月10日	第13回大分県小中学生書道チャンピオン大会・決勝大会	大分県総合体育館	NPO法人大分県書写書道指導者連合会
1月15日～20日	華道家元池坊大分支部いけばな展	iichikoアトリウムブラザ	華道家元池坊大分支部
1月18日	3人会 ニューイヤーメモリアルコンサート「オペラ【蝶々夫人】ダイジェスト」	iichiko音の泉ホール	3人会
1月20日～25日	第34回水彩連盟大分支部展	大分市アートブラザ	水彩連盟大分支部
1月24日～2月23日	別府アジアビエンナーレ2010ー絵画	別府市美術館	別府市・別府市教育委員会
2月1日	創立60周年記念演奏会「還」	iichikoグランシアタ	大分県庁職員吹奏楽団
3月1日	第24回大分市少年少女合唱団定期演奏会	iichiko音の泉ホール	大分市少年少女合唱団
3月8日	第16回音団協音楽祭	大分県立芸術会館	大分県音楽団体協議会
3月15日	第18回合同定期演奏会	大分県立芸術会館	ウインドアンサンブル荷揚
3月17日～22日	第30回九州国画会写真展	大分県立芸術会館	九州国画会写真部
3月22日	第55回歌帖社全国短歌大会	別府市豊泉荘	歌帖社
3月29日	芸術文化事業 素顔からの変身ー装いの妙味	大分文化会館	特定非営利活動法人大分県芸術文化振興会議

大分市内の文化施設に関する運動

芸術会員がそれぞれ文化施設に関する運動を行っております。

大分市は大分駅周辺総合整備事業の一環として、駅南に複合文化交流施設の整備を計画しています。これに伴い大分文化会館は今後どうなるのかとの懸念もあり、「大分文化会館の再生をお願いする会」が文化会館存続の運動を進めています。一方「大分市に小劇場をつくる会」は駅南の複合文化交流施設の中に小ホールの新設を要望しています。

また、大分県美術協会は県立美術館の建設について県に陳情・要望を継続しており、さる11月14日には建設促進のためのシンポジウムを開催しました。

今回はこれらの文化施設に関する会員の運動についてその経緯、内容をご紹介します。

県立美術館

- 運動の主体 大分県美術協会
大分県芸術文化振興会議
- 運動の経緯 昭和42年 県立美術館の建設運動始める
昭和52年 県立芸術会館完成
昭和53年 県立芸術会館の拡張運動始める
平成4年 県に県立美術館建設を陳情
平成11年 県に県立美術館建設の署名と要望書を提出



シンポジウム

平成20年11月14日
美術館建設促進のためのシンポジウムを行う（大分市コンパルホール）
参加者 450名

大分文化会館

- **運動の主体** 大分文化会館の再生をお願いする会
 大分県民謡研究会萬謡會
 大分市民踊連盟
 淡窓光霊流大分詩道会
 大分謡曲協会
 筑前琵琶大分旭会
 大分県日本舞踊連盟
 大分県長唄連盟
 (財)日本民謡協会大分支部
 おおいた洋舞踊連盟
 大分県三曲協会
 大分県芸術文化振興会議



街頭署名活動

- **運動の経緯** 8月6日 お願いする会設立発足会議
 8月11日 大分市文化国際課へ陳情書を提出
 10月29日 署名活動開始（大分文化会館の再生をお願いする会会員）
 11月14日 大分トキハ前にて街頭署名活動
 12月26日 署名数の中間まとめ
 1月10日 芸振会員署名用紙回収
 1月中旬 署名とりまとめ
 2月初め 大分市長へ署名並びに要望書を提出（予定）

大分市複合文化交流施設

- **運動の主体** 「大分市に小劇場をつくる会」
 おおいた演劇の会

- **運動の経緯** 9月6日～9月30日
 複合文化交流施設に関するパブリックコメントの大分市への提出を文化団体等によびかけ
 10月22日 にぎわい創出・複合文化施設建設特別委員会傍聴
 11月9日 大分駅前にて街頭署名活動
 11月22日 交流会
 11月27日 大分市複合文化交流施設（仮称）市民ホール建設計画に関する意見交換会（大分市主催）
 12月1日 大分市議会に小規模劇場設置についての陳情書提出



大分市複合文化交流施設建設予定地

平成20年度 芸振文化事業

梅沢武生劇団の若手ホープとして活躍中

日出町出身 梅沢扇乃助さん を招いて

- ◆行事名 素顔からの変身ー粧いの妙味
- ◆開催日時 平成21年3月29日（日）
18:00～19:30
- ◆開催場所 大分文化会館
- ◆出演 梅沢扇乃助 他



プロフィール

1985生まれ。日出町出身。本名 平早水裕二（ひらそうず ゆうじ）平成15年3月梅沢武生劇団入団。現在、舞台やNHK BSのふるさと皆様劇場などで、劇団若手ホープとして活躍中。

公演内容

素顔から女形への変身の様子を見せながら、粧いについて語る。その後、「扇乃助、舞踊セレクション2009」として、艶やかな踊りを舞う。また、全国各地の会館での公演をもとに、演者にとって使いやすい会館、使いにくい会館などについて、扇乃助さんの思いを語ってもらう。

大分県芸術文化振興会議では、平成18年に特定非営利活動法人としての新たなスタートを機に、自主事業「芸振文化事業」を計画いたしました。一般の皆さんにも興味を持っていただけるようテーマも芸術文化に限らず、広い分野から選んでいきたいと思っております。

そのようなことから、初めての講演会は平成20年1月、講師に京都仏教会理事長の有馬猥下をお招きして、京都五山文化や豊後の文化についてお話をいただきました。

今年度は日出町出身の梅沢扇乃助さんに登場いただくこととなりましたが、若い世代にスポットをあてその成長を支援することは芸振の使命のひとつです。扇乃助さんはさらに高いレベルの技量が期待できる逸材として私ども芸振会員にも少なからぬ刺激を与えてくれるものと存じます。

また、会場を大分文化会館とし、その再生とさらなる活用を願う市民の集まりの意味もこめ、開催をいたします。扇乃助さんも全国さまざまな会場にたった経験から演者にとっての良い会場などについてもお話しくださいます。大分文化会館の大ホールで、梅沢扇乃助さんの舞台をどうぞお楽しみください。

第10回記念大分県民芸術文化祭

大分県民芸術文化祭は11月30日の閉幕行事で、開幕行事「日本舞踊の祭典 秋に舞う」をはじめとする31の主催、共催行事が終了。この12月末日までに開催される参加行事を残すのみとなりました。9月から12月までの参加行事180を加え、今回も全体で211行事による盛大な文化祭となります。芸術会員をはじめ、多くの文化団体のみなさんのご協力、ご参加ありがとうございます。

第10回記念大分県民芸術文化祭の行事の詳細は後日発行の記録集に掲載されますが、今回は特に第10回を記念して開催された「おおいたの若い作家たち展」（美術展）と閉幕行事「おおいたを彩る音楽家たち」（演奏会）の2つの記念事業について、それぞれ企画の中心としてご尽力いただいた方々にコメントをいただきました。

「おおいたの若い作家たち展」

平成20年11月5日～11月9日
大分県立芸術会館

おおむね20から30代の若手から出品作家を選考して実施した展覧会であったが、ギャラリートークでは鑑賞者からの質問、意見が続出、これまでにない未知数の活気がみなぎる会になったと感じている。アンケートでも今後もこのような展覧会を継続してほしいとの声が多々聞かれたが、それは今回の運営委員長として特に強く感じていることでもある。

今回選考されなかった若い作家がまだ県内には大勢いるし、それ以外にもどんどん若い作家に出てきてほしい。そのような若い感性がぶつかり合う場を継続して提供することが重要。この記念事業がそれを提起してくれた。いい展覧会であった。

（渡辺恭英運営委員会委員長）

閉幕行事「おおいたを彩る音楽家たち」

平成20年11月30日 14:00
iichiko音の泉ホール

芸短大で打楽器を専攻する学生で構成されたパーカッションアンサンブル、藤野氏、福田氏の連弾によるラフマニノフのピアノ協奏曲。植田東中学校合唱部、戸次中学校コーラス部による作曲家河野敦郎氏の合唱曲の演奏。それぞれ珍しく個性的な内容と優れた演奏で、大分県民芸術文化祭記念事業ならではのプログラムになった。

最後のステージでは、N響チェロ奏者藤村俊介氏、ピアノ安宅薫氏を招き、ヴァイオリン川瀬麻由美氏とのアンサンブルで、ヴァイオリンのツィガーヌ、チェロでハンガリア狂詩曲を演奏。最後のトリオ演奏では難曲として有名なショスタコーヴィッチのピアノ三重奏曲を披露。聴衆を魅了した。

（辛島光義企画部会長）

募 集

第11回大分県民芸術文化祭テーマ

3年間、皆さんに愛された「とどけたい、あなたの心へ」にかわるテーマを募集します。

採用されたテーマはポスター、総合プログラム、記録集、ホームページに掲載されるほか、すべての文化祭行事の印刷物に掲載をお願いします。

応募方法：FAXあるいは郵便で大分県民芸術文化祭実行委員会事務局までお送りください。

締 切：平成21年1月31日（土）

決 定：お寄せいただいたテーマから平成21年2月開催予定の実行委員会で決定

大分県民芸術文化祭実行委員会事務局

〒870-0035 大分市中央町3-6-13 2F

TEL 097-536-0522 FAX 097-536-6188

（参考）これまでのテーマ

年度	回次	テーマ
11	第1回	「豊の国新たな出発（たびだち）」
12	第2回	「豊の国新たな出発（たびだち）2000」
13	第3回	「世紀（とき）をつむぐ文化の風」
14	第4回	「世紀（とき）をつむぐ文化の風2002」
15	第5回	「出航（ふなで）2003」
16	第6回	「文化躍進2004」
17	第7回	「感動を今、そして未来へ」
18	第8回	「とどけたい、あなたの心へ」
19	第9回	〃
20	第10回記念	〃



勸大分県文化スポーツ
振興財団企画営業部長

本田 哲也さん

理事長 が聞く vol.5



芸振理事長
佐藤 朱音

佐藤 今回は勸大分県文化スポーツ振興財団企画営業部長の本田哲也さんをお招きして、お話を伺いたいと思います。今年は国民文化祭の年に誕生したオアシス21、勸大分県文化スポーツ振興財団ともに10周年、おめでとうございます。

本田 ありがとうございます。私どもの財団はiichikoグランシアタやiichiko音の泉ホールを管理、運営しているのですが、お客様あつての財団ですので、この10年間ご利用してくださいましたお客様、興行主の皆様には大変感謝しています。その意味を込めて、先月、NHKさんや全日空ホテルさん、FTCさん、竹町商店街さんなどと一緒に、10周年記念事業を開催しました。

佐藤 ええ、微力ですが、芸振も参加させていただきました。

本田 微力なんてとんでもない。10周年記念事業の目玉の一つとして1週間連続のアトリウムコンサートを行ったのですが、その最終日には芸振の会員さんに出演していただきました。ジャズとボサノバを演奏していただいたのですが、催し物の幅が広がりお客様には大変な好評をいただきました。とても感謝しています。

佐藤 10年という一区切りを過ぎたわけですが、今後についてはどのように考えられていますか。

本田 理事長さんには私どもの財団の理事にもご就任いただいておりますので私から申し上げるのは口幅ったいのですが、理事会を重ねるうちに徐々に方向性が見えてきました。財団がこの10年間活動をしてきた成果としては、オペラやバレエなどの公演を民間企業の方が主催して開催するようになってきたことだと思います。そしてその数は徐々に増えてきています。ですから、これからはこの状況を踏まえて、新たな展開をしていくということを理事会で確認しています。

佐藤 新たな展開ですか？

本田 第一は、いわゆる買い公演は民間企業の方々と競合しない分野のみに特化していくことです。第二は、大分県独自の文化づくりに取り組むということで、すでに昨年から実施しています県内の若い演奏家を育てる「MAROプロジェクト」、今年から始めた人間国宝をお招きしてその神髄に迫る「人間国宝～その心と技～」、来年結団予定のiichikoグランシアタジュニアオーケストラなどで、独自企画

に力を注いでいきます。第三は、人づくり事業の継続で、県内の若手芸術家に発表の場を提供する機会等を充実していきます。今年は芸振さんの「文化キャラバン」に私どもの財団も参加させていただきました。そのほか、県と連携して地域文化振興支援事業を取り入れることも決まっています。

佐藤 ジュニアオーケストラは子どもの心を育てるという点でも興味深い試みで楽しみです。文化キャラバンも同様に子どもたちの感性を育てることに少しでも役立ちたいと芸振が昭和60年から実施してきている事業ですが、県内の小中学校を中心に開催希望が大変多く、すべての希望に応えられないのが実情です。今回ご協力いただき、事業としてまた一歩充実していき、ありがたいことです。

それはさておき、財団には芸振の団体会員に対する会場使用料の減免や公演実施にあたってのきめ細やかなサービスなど大変な信頼を寄せているのですが、なかなかホールがとれないですね。

本田 申し訳ありません。また、それだけ芸振の会員さんがよくご利用くださっているということで本当にありがとうございます。ただ、全国のホールの平均稼働率が60%に満たない中、おかげさまで私どもの2つのホールの稼働率は共に80%を超えています。ですから、どうしてもそのような状況が起きてしまっています。大変ご迷惑をおかけしていますが、開催日の調整や代替施設の確保などできる限りの手だてを一緒に考えていきますので、できる限り早い時期に係りにご相談くださると助かります。

佐藤 財団の理事としては喜ばしいことですが、本当に会場押さえに苦労しています。今日はお忙しい中すみません。最後に、芸振と財団の協力関係は深まってきていると考えてもいいのでしょうか？

本田 はい。芸振さんも財団も大分県内の芸術文化活動をより活性化させることが目的のひとつですから、これからも、手を携えられる分野は着実に広がっていくと思います。また、iichikoグランシアタジュニアオーケストラにつきましては、先程理事長さんがおっしゃった側面も大切にしながら、4、5年先には本格的なホール付きのオーケストラに育てていきたいと思っています。そうになったら、芸振の会員さんとの様々な共演ができるものと今から楽しみにしています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

会員活動紹介

大分県傘川柳連合会

代表者：服部談亭

生い立ち・紹介

1968年に第1回新春のつどいを開催 大分県傘川柳連合会を結成 初代会長内藤凡柳

めざすもの

川柳は人づくりの詩です もっと川柳人口を増やしたいとジュニアの育成を頑張っています。

そのため日常努力していること

県下各地16地区に川柳会がありそれぞれ月に1度の会を開き底辺の拡大をしています。

活動内容

機関誌川柳高崎山を毎月発行し4月に春のつどい（連合会総会）10月に県川柳大会を開催、県短文学大会、湯布院雲海まつり、万葉の里まつり、凡柳句碑まつり川柳大会を毎年開催その他周年毎に各地で大会があります

アピールしたいこと

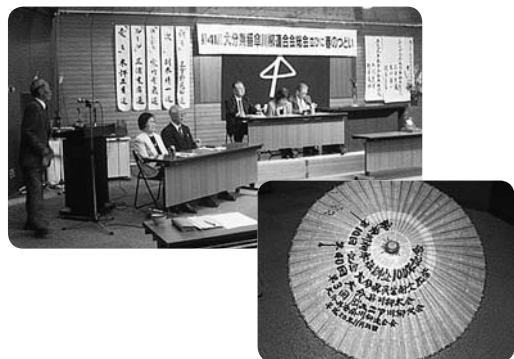
川柳は人間諷詠の17音字の短詩型の文学です。人生の哀歓を探るうたです。「川柳を楽しみましょう」をアピールします。

あなたにとっての芸術とは？

芸術があるから会員になってるだけです。
今もよくわかりません。

芸術にのぞむこと

芸術と文化の振興ですよね。芸術ばかり力をいれないで文化（文芸）にも力を貸してください。



西部国画会

事務局長：甲原 安

生い立ち・紹介

1995年に広島以西の現代の美術（絵画）文化の発展に寄与することを目的とし始まる。

めざすもの

構成員相互の美術活動における連帯とその向上を目指す。また本展（国展）の活動の発展に寄与する。

そのため日常努力していること

会員相互の連携をしっかりと持ち、事務局を中心として毎年展覧会を開いている。

活動内容

毎年7月～9月の間に、一週間展覧会を開催している。その中で、互いの作品向上にむけた合評会等を開いている。本展（国展）に向け努力を積み重ね、より多くの会員が入選することを目指している。

アピールしたいこと

展覧会は、昨年まで3年間は広島で開催してきましたが来年度からは鹿児島になります。その後また大分の開催も予定しています。

あなたにとっての芸術とは？

さまざまな活動をしている団体のことや、大分県の芸術の様子を知ることができる場。

芸術にのぞむこと

より多くの人々に大分の芸術文化を紹介し発展させていってほしいと思います。



芸振会員秋の受賞者紹介

文部科学大臣表彰	地域文化功労者	大分交響楽団
大分県知事表彰	学術・文化振興	大分県吟剣詩舞道総連盟
大分県知事表彰	学術・文化振興	大分県高等学校文化連盟
大分県知事表彰	学術・文化振興	特定非営利活動法人大分県芸術文化振興会議
大分県教育功労者表彰	文化関係	菅原 二善（勲日本美術刀剣保存協会大分支部代表）
大分県教育功労者表彰	社会教育関係	宮本茂登一（県アカデミアの会豊後高田支部長）
大分合同新聞文化賞	産業経済	秋月 睦男（名誉会員）
大分合同新聞文化賞	芸術文化	牧 泰正（大分県美術協会名誉会員）
大分合同新聞文化賞	特別功労賞	日野 直子（NPO法人おおいた豊後ルネサンス理事長）
久留島武彦文化賞		宮本茂登一（大分県児童文化研究会会員）

新 入 会 員 紹 介

・団体会員

団 体 名	部門	代表者	事務局長	事務局所在地
長唄 松樹會	音楽	芳村孝次女	芳村孝次女	大分市東浜1-5-6

・個人会員 利光克寛（文芸）、永松秀敏

物 故 者

・個人会員 菊池紅秀（大分県現代箏曲研究会代表） ご冥福をお祈りいたします。

* ご寄付をいただき誠にありがとうございました。

新潮流の会 1団体／石橋静子 個人1名

合計：12,000円 累計：12,000円

平成20年4月から今回の機関紙発行までにご寄付いただいた会員の皆様です。

お 知 ら せ

- ◎「大分県文化年鑑2008」（平成20年度版）の編集、構成等についてご希望、ご意見等を下記事務局までお寄せください。

平成20年度版の文化年鑑は平成20年4月から平成21年3月までの団体会員の文化活動を中心に、県内の文化活動記録や会員情報等を掲載します。平成21年1月中旬に原稿依頼、4月中旬原稿締め切り、平成21年度総会で会員のみなさんに配布の予定です。

編集委員 土谷正公 二宮霊山
大崎輝彦 清末典子

◎会費の納入について

現在、平成20年度会費未納会員数69（団体会員、個人会員）となっています。年が明けたら督促を出します。督促にかかる経費の節約のためにも、まだ納入されていない方は早めに納入してください。ご協力よろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人 大分県芸術文化振興会議

〒870-0035 大分市中央町3丁目6-13 岩尾文具別館2階

TEL：097-536-0522 FAX：097-536-6188 E-mail：info@geishin.jp URL：http://www.geishin.jp/